



アフリカ 未来社会

2019.11.21 Thu. 18:00-20:30 ●参加費：1,000円
●定員：先着20名

@豊中キャンパス・大阪大学会館2階 SSI豊中ラウンジ

大阪大学は、日本や世界が直面する様々な社会課題に対して解決方法を提示し、さらに学問的にも真理を追究するためのシンクタンクとして「社会ソリューションイニシアティブ(SSI)」を昨年4月に始動させました。SSIは「命を大切に、一人一人が輝く社会」を目指し、定期的にSSIサロンを開催して、喫緊の社会課題について研究者や実践家や学生の皆様とともに考えてまいります。

趣旨

「アフリカ 未来社会」。今回のサロンの目的は、アフリカにとってあるべき未来社会の姿を論じることではありません。先進国である日本が、発展途上にあるアフリカ諸国のモデルになると主張することでもなく、また、「伝統が色濃く存続しているアフリカでは、近代化のために私たちが失ってしまったものを見い出すことができる」といったノスタルジックなイメージを投影することでもありません。現在のアフリカにおける経済や社会のあり方が、日本における未来社会を構想するうえでモデルになる可能性を検討することです。

タンザニア、南スーダン、ガーナ、さらには香港、そして日本にまたがる空間のなかで視点を移動させつつ、国境を越えた人とモノの移動、人と人のつながり、人と場所・故郷とのつながり、人びとの「生きる力」を、具体的事例を踏まえながら検討します。背景には、グローバル経済の展開、個人－共同体－国家の関係、そして「近代」と「脱近代」とはなにか、といった問題群があります。最終的には、人間が人間らしく生きるとはどういうことか、について議論できればと考えています。

プログラム

- 18:00 開会挨拶 堂目卓生 SSI長・経済学研究科教授
- 18:10 各分野の研究の問いや活動実態・生み出される価値などに関する話題提供
 - 小川さやか 立命館大学先端総合学術研究科教授
「無条件であることの条件を追求する
— タンザニア人の商売とその日暮らしを事例に」
 - 栗本英世 SSI副長、人間科学研究科教授
「無国家状態、内戦、低開発を生き抜く——南スーダン、パリの人たち」
 - 木多道宏 SSI企画調整室長、工学研究科教授
「アフリカの非正規市街地から構想する未来の都市計画」
- 19:10 ディスカッション (モデレーター:木多道宏)
- 19:40 食事をとりながらのダイアログ
- 20:30 終了 (21時までには退出)

